

第5学年 道徳科学習指導案

作成者:遠藤 信幸

1. 主題名「本当に相手を思いやった行動とは」 (B 思いやり、親切)

2. 読み物教材「父の言葉－黒柳徹子」 (5年生の道徳 文溪堂)

3. 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

思いやりとは、相手に向けた心の働きであり、親切とは、その相手に向けた心の働きによって生まれる相手への自分が考えられる最善の行為である。相手の立場にたって、その人のことを考えた行為を行えることが望ましい。その行為の中では、一般的な視点からは「善」とは捉えることができない行為もあるかもしれない。しかし、本当に相手のことを考えた結果、「親切にしないことも親切」と考えることもできる。本授業では、「本当に思いやった行動とはどういうことであるのか」ということを資料から考えさせたい。そして、その考えをもとに具体的な場面においての自分の行為について考える。

(2) 児童の実態について

高学年の実態として、「相手を思いやること」の大切さは理解しているが、実際の場合において、自分の損得を考えずに相手を思う心に向けることは難しい。理解しているが、それを実際に行動にうつすのが難しい発達段階であるといえる。本授業では、「本当に相手を思いやった行動とはどういう行動であるのか」を話し合いのベースにする。「相手を思いやること」と「相手を思いやった行動」とのつながりを一人一人が考えることで、ねらいとする道徳的価値の理解を基にした態度化を図る。

(3) 本時の教材について

本読み物教材は、黒柳徹子の幼少時の物語である。自分と同じ病気の女の子と、自分の病気が治った後、どう接すればいいのか悩む物語である。徹子は相手のことを思うあまり、赤い松葉づえの女の子が見えると元気になった自分を見せるのは悪いと考え、隠れるようになる。父の言葉もとても印象的だが、相手を思いやる行動とはどういう行動をいうのか、まさに考えさせられる資料である。徹子の心情に共感させながら、「自分ならどうするのか」を問い、この道徳的問題についての一人一人の解決策を持たせていく。

4. 本主題で育む資質・能力とそれを育成する主な手立て

学習場面	関連する主な資質・能力	資質・能力を育成する主な手立て
・隠れるのと話しかけるのでは、どちらがより思いやりのある行動かを考える。	○伝える力	○自分の考えを友達に伝える場の設定 (付箋紙)
・自分なら隠れるどうか考える。	○正しくあろうとする心	○自分ならどんな考えのもと、どのように行動するか考える場の設定

5. 本時のねらい

思いやりという価値を理解させた上で「相手を思いやる行動とはどんなものか」という道徳的問題について、資料を基にした話し合いで自分なりの答えを見つけさせ、相手を思いやり親切にしていこうという意欲を育てる。

6. 本時の展開

主な学習活動（・予想される児童の反応）	◇資質・能力を育成する主な手立て ◆評価
1. 道徳的価値の意義について確認する。 ○相手を思いやるとはどういうことでしょうか。 ・助けてあげる ・相手のことを考えてあげる。	◇「思いやりの行動」について発表し、本時の話し合いのテーマについて考えをもたせる。（先を見通す力）
相手を思いやった行動とは（道徳的問題）	
2. 資料「父の言葉―黒柳徹子」を読んで話し合う ①資料の感想を問い、子どもの疑問から問題を設定する。	
隠れるのと話しかけるのでは、どちらがより思いやりのある行動か（資料における道徳的問題）	
＜隠れる＞ ・話しかけたら、相手が嫌な気持ちになる。 ・自分が元気な姿を見せるのは悪い。 ・会ってなんと話しかけたらいいか分からない。 ＜話しかける＞ ・隠れるのはうそをついているみたい ・悪いことはしていない。 ・話しかけた方がこれからもっと友達になれる。 ②自分なら隠れますか、話しかけますか。 ＜隠れる＞ ＜話しかける＞ ③相手を思いやった行動とは（道徳的問題の答え） ・相手のことを考えること。 ・何もしないことも思いやること。 3. 道徳的問題を自分の生き方に生かす。 ○今日の学習から自分がこれからの生き方の中で大事にしたいと感じる言葉や話がありましたか。	◇自分の考えを友達に伝えるため、根拠を明確にして、カードに書かせ黒板に貼らせる。（付箋紙の使用:伝える力） ◇書き終わった後、班で意見を交流し合う。互いの考えに質問をし合うよう伝える。（話し合いの場の設定:協働する力） ◇全体での話し合いでは、カードを分類し、それぞれのグループにダウトを入れて、それぞれの考えの根拠に迫る（切り返しの発問:批判的思考力） ◇ネームプレートを黒板に貼らせ、立場を明確にさせる。（ネームプレートの使用:伝える力） ◇自分が赤い松葉づえの女の子なら話しかけてほしいか問い、多面的な視点を与える。（自分ならどんな考えのもと、どのように行動するか考える場の設定:正しくあろうとする心） ◆相手を思いやる行動とはどのようなものであるかという道徳的問題について、資料を基にした話し合いで自分なりの答えを見つけることができたか ◇具体的な状況を設定し、自分ならどういう行動を取るのか考えさせる。（ノートの使用:メタ認知力） ◆相手を思いやり親切にしていこうという意欲を育てることができたか